

各 位

公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

理事・事務局長 宮本 彰夫

2015年度『広島地区VE塾』 開 講 の ご 案 内

環境問題が深刻化する中、持続可能な社会の実現に向けて、企業・団体の果たすべき責務が大きくなるとともに、国民一人一人の意識、行動の変革も課題となっています。顧客が求める機能を最低のライフサイクル・コストで確実に達成することによって資源の有効活用を図るVE (ValueEngineering) の普及と活用、そのための人材育成も一層求められてきています。

『広島地区VE塾』は、このVEの実践を担える人材を育成するために設置された“VEワークショップ・セミナー”です。受講者が実際に職場で抱えている問題や課題をテーマに十分な時間をとって行うグループ演習はこの塾の大きな特長であり、受講者の方々から毎年好評をいただいています。

この塾では、業務中になかなか経験できない異業種交流も可能です。また修了された方は、VEL認定試験の受験要件を満たすことができます。



演習の様子

- ◆ **対 象** : まず始めにVEの概要を知りたい方、VEの導入・実践をお考えの方、VELの取得を目指されている方をはじめ、**どなたでも受講いただけます。業種・職種や年齢・性別、1社あたり的人数等に制限はありません。**
- ◆ **期 間** : 2015年9月25日(金) ~ 2015年11月27日(金) [全9会合]
- ◆ **会 場** : マツダ(株)VEセンター [広島県安芸郡府中町、山陽本線向洋駅から徒歩10分]
- ◆ **定 員** : 20名
- ◆ **受講料** : 32,500円※ただし、**本会会員は25,000円。本会会員の紹介の場合は、27,500円**
- ◆ **講 師** : 【塾長】鈴木 隆 氏 [マツダ(株)原価企画本部 VEセンター長, VEL]
【アドバイザー】若林真一 氏 [(株)フジタ 広島支店 理事, VES]
【アドバイザー】小関要司 氏 [北九州VE塾 塾長, CVS]
- ◆ **申込み** : **9月4日(金)まで**に別紙の申込書を下記の申込先へFAXで送信願います。

【お問い合わせ先 / お申し込み先】

公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会 事務局
TEL. 03-5430-4488 / FAX. 03-5430-4431
URL: <http://www.sjve.org> / E-mail: info@sjve.org

➤ スケジュール

回	日程	内容
1	9 / 25(金)	オリエンテーション … VE 塾概要の紹介、受講者の自己紹介 VE の基本 … VE 概論、VE 実施手順（機能定義）
2	10 / 2(金)	VE の基本 … VE 実施手順（機能評価、代替案作成） VE 実践テーマの選定 … 受講者が職場で実際に抱えている課題から互選
3	10 / 9(金)	VE の実践〔ステップ1〕 VE 対象の情報収集
4	10 / 16(金)	〔ステップ2〕 機能の定義
5	10 / 23(金)	〔ステップ3〕 機能の整理
6	10 / 30(金)	〔ステップ4〕 機能別コスト分析 〔ステップ5〕 機能の評価 〔ステップ6〕 対象分野の選定
7	11 / 6(金)	〔ステップ7〕 アイデア発想 〔ステップ8〕 アイデアの概略評価
8	11 / 20(金)	〔ステップ9〕 アイデアの具体化 〔ステップ10〕 代替案の詳細評価
9	11 / 27(金)	提案（代替案の発表準備と発表） 修了証授与式

※1. 時間は全て 10:00~17:00。

※2. 日程は変更させていただくことがあります。

➤ 開講にあたって

皆さんこんにちは。『広島地区 VE 塾』塾長のマツダ株式会社の鈴木と申します。

近年、科学技術の伸張は目覚ましく、製品やサービスは多様化を極め、我々の業務は複雑かつ高度なレベルでの運用・成果出しを求められています。このような状況下、VE(バリューエンジニアリング: 価値工学)は半世紀以上に渡り、ベテランからビギナーまで多くの方に活用され大きな成果を導いておりますが、かといって決して万能なツールではありません。QES、QFD、TRIZ、FMEA/FTA、カラクリ、QC7つ道具など、数学と自然科学を基礎として有用事物を構築する目的の工学手法は数多く有り、VE と同様にそれぞれが優れた特長を持っています。実務の場面に於いて課題解決や改善活動へ『どんな手法を使えば良いのだろうか?』と適正判断に迷うことも多いでしょう。これについては経験と努力の積み重ねにより、使い分け能力が養われていきます。そして必要場面に応じ、これらを駆使することで、成果を勝ち取る事が出来るでしょう。



鈴木 塾長

但し、中堅技術者として職務能力を高めたいと望む方には、まず最初に VE をマスターすることをお奨めします。なぜならば、他には無い VE が持つ特色の1つとして『製品が担うべき機能を追求し、機能ベースで価値を高める発想を得る』ことがあるからです。

結果として、機能性評価軸の弱い他の工学手法を補強し、活用幅の広がりを得ることができます。ゆえに技術スキルを中心に VE を置き、VE の面白さを探究し続けるもよし、組み合わせで応用を図るもよし、今日までの実績で示されております。

また技術者以外の方には『製品やサービスが持つ機能を正しく理解できる』ツールとして、『目的を実現するやり方としてそれは正しいのか?』という見識眼を育て上げ、あらゆるビジネス・シーンで役立てられることと思います。

VE の適用範囲は設計創造活動はもとより、生産技術・購買・営業やサービスなど、製品とサービスを提供する全ての領域にあり、その価値を高めて行くことが可能です。

VE 塾は長時間に渡るスキル UP 講座となりますが、私及び指導協力いただく VE 有識者共々、受講される皆さんと二人三脚と成ってノウハウを伝授し、VE の真髄を極めて行くことを願っております。

奮っての参加をお待ちしております。

公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会 西日本支部
2015 年度『広島地区 VE 塾』塾長 鈴木 隆

➤ 2014 年度受講者の声



pod 建築設計事務所
住本 周平 様

VE 塾でのクリップを題材にした演習が私の VE 初体験でした。構成要素に分解、機能の定義と実施手順を進めるうちに普段見慣れたクリップが機能の固まりに見え出したことを覚えています。また、単なるコスト改善ではなく、ライフサイクルコスト、機能、使用者にまで配慮するため、幅広い視野が求められることを学びました。

14 年度の VE 塾では「SCBS ブラケットの価値向上」をテーマに活動を行いました。クリップでの演習で学んだことを基に、代替案を作成しました！とは当然いかず、塾長、副塾長からアドバイスを頂いたり、良き仲間と協力して進めていきました。異業種の方との活動は刺激的で、発想に驚かされるだけでなく、その発想に触発される自分がいたり、チームでの活動の中で成長できたものの、チーム内での共通理解や、相手に考えを伝えることなど、コミュニケーションの難しさと、それが VE にとって重要であると特に感じました。活動期間中は笑いあり、涙あり、場外乱闘？ありと活気のあるものとなりました。

最後になりましたが、ご指導頂きました塾長をはじめとする関係者の皆様、並びにチームメンバーの皆様に感謝致します。



マツダ株式会社
野見山 龍介 様

私が VE 塾に参加して得たものは、3 つあります。

1 つ目は知識です。VE 手法など、普段の業務では学ぶことができない知識を実践的に学べたことで、自分の「問題解決のツール」が増えたことを感じています。

2 つ目は意識が変わったことです。VE 塾で機能/コスト/工程に対する考え方を学べたので、「構造をどうすれば ‘いかに安く’、‘いかに多くの機能を織り込めるか’」や「後工程に与える影響」について考えることが以前より増えたことを実感しております。

3 つ目は設計の面白さを再確認したことです。今回、私が設計している部品が活動テーマに選ばれたため、活動初期では「得るものが少ないだろう」と考えていました。しかし、VE 手法を学び、グループワークで異業種の方の考え方に触れる機会が増えていくたびに、自分の知識が限定的であることやアイデアを統合する面白さを学ぶことができました。

今後は VE 塾で学んだことを日々の業務で実践できるように精進していきます。

最後になりましたが、ご指導いただきました塾長と副塾長、サポートいただいた事務局の方々、半年間一緒に活動したチームメンバーには大変お世話になりました。共に活動できる機会があることを切に願っております。

2014 年度におけるVE実践の成果

1. テーマと改善目標

テーマ：SCBSブラケットの価値向上

SCBSとは？

Smart City Brake Supportの略
赤外線を用いて
前方の障害物を検知し、
危険と判断すると
自動ブレーキ作動

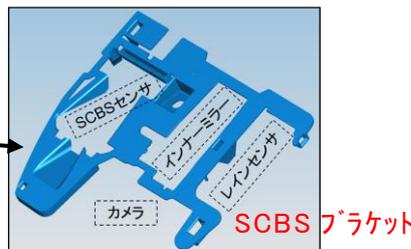


周辺機器・
ブラケットを覆
っているカバー



SCBSブラケットとは？

フロントガラスにSCBSセンサを
固定する部品



SCBS ブラケットの種類

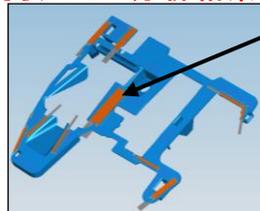
単位:種類数

車種	A		B		C	
	○	×	○	×	○	×
カメラ	○	×	○	×	○	×
ハンドル	右	1	1	1	1	1
	左	1	1	1	1	1



全 10 種類、車種が新設されるたびに増加している

現状のコスト分析結果



両面テープ(8~9 枚)
費用が約 1/3 占める
(目的)
フロントガラスとの
仮接着に使用

VE 活動の目標設定

1. SCBSブラケットの
種類数削減 10→2

車種	全	
	○	×
カメラ	○	×
ハンド ル	右	1
	左	1

2. 原価低減

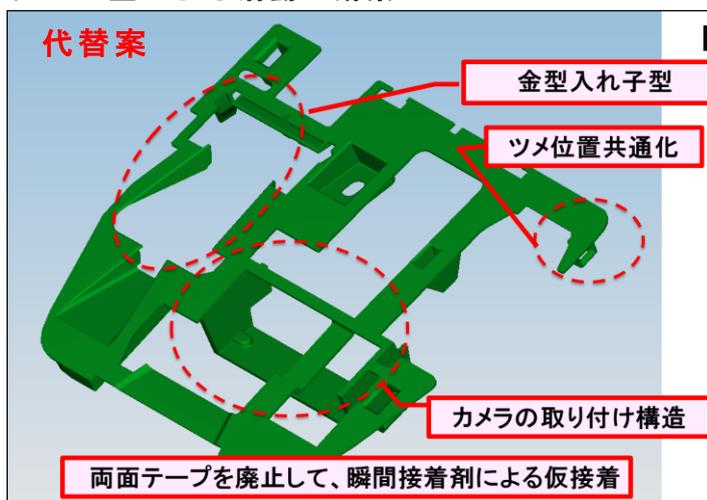
・ガラス貼り付けの費用低減(指数)
(材料費と加工費の削減)

100→70

・金型設計工数低減(指数)

2. VE 塾による活動の成果

代替案



接着剤の性能検証を実施

1. 瞬間接着剤は仮止めに使用できる
2. ブラケットは 30s 以上ガラスと接触させる必要がある
3. 少しでも浮きがあると困難

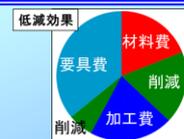
活動成果

SCBSブラケットの種類数削減 (目標 10→2)

成果: ベース金型数削減 10→2
カメラ専用ブラケットの廃止 6→2
カバー個数の削減(副次効果) 10→2
レイアウト共通化(副次効果)

原価低減 (目標 100→70)

成果:
両面テープ廃止
材料費 100→50*
加工費 100→72*



設計工数削減

100→85

※両面テープの廃止効果のみ

3. 今後の課題

■組付性の検証

- ・ブラケットの試作を行い、
現物試験を行う。

(ガラス接着性、部品の組付性、強度)

■両面テープ廃止への詳細検証

- ・押さえ方の検証
- ・最悪環境での接着テスト
- ・生産工程への折込み検討

2015年度『広島地区VE塾』 受講申込書

2015年____月____日

1. 申込者 (受講者と同じ場合は記入不要)

所在地	〒		
会社名			
所属・役職名			
氏名		T E L	

2. 受講者

フリガナ			
氏名			
会社名			
所属・役職名			
所在地	〒		
T E L		F A X	
E-mail			

3. 受講料【どちらかの□に✓】

32,500円	【会員】25,000円	【会員の紹介】27,500円
◎折り返し、申込者の方に請求書をお届けいたします。請求書の到着後、 9月25日(金)まで に銀行振込みでお支払いください。		

※ご記入の個人情報は、請求書等のお届けや必要な場合の事前連絡、受講者名簿（講師と受講者に配布）の作成、当支部が主催する大会・セミナー等のご案内などに使用させていただきます。

※大会・セミナー等のご案内が不要な方は、右の□に×をお願いします。☞